



スポンサー募集のご案内

日本ムードル協会 企業部会

Moodle Moot Japan 2020を応援していただける スポンサーを募集します

- Moodle MootはMoodleを利用する教育者、開発者、IT管理者、サポート企業などのMoodleコミュニティが一同に集結し、それぞれの知識と経験、ノウハウ、将来展望を共有する国内最大のイベントです。
- このイベントに参加するすべての人にとって実り多きものにするため、ご支援いただけるスポンサーを募集いたします。



Moodle Moot ご参画のメリット

- 想定来場者数は約300名
- 大学、高等専門学校教授・准教授、教務責任者、企業や官公庁の人事・教育担当者などシステムやサービスの導入・投資に決定権を持つ方、または推進する立場の方が多数来場します。
- 有料イベントのため、ポテンシャルの高いカスタマーだけが集まります。
- 商用LMS/CMS、コンテンツ制作ツール、電子教科書、クラウドサービス、モバイルラーニングなど、先進的な教育ソリューションに高い関心を示す方に積極的にアプローチできます。
- 情報収集のみならずその場で名刺交換をしながら、ビジネスの商談・研究パートナーの開拓も可能です。



スポンサー募集概要

対象企業	Moodle に関連するビジネスをされている、もしくは今後する予定があり、Moodle Mootの開催をご支援いただける企業
協賛金	100,000～400,000円 （消費税はありません）
スポンサー特典	・ 以下詳細をご覧ください。
ご協力頂きたいこと	・ 貴社が所有するオンライン、オフラインメディアでのMoodleMootの積極的なプロモーション活動 ・ ガイドブック・チラシ封入用のウェルカムバッグ、文房具、ノベルティグッズなどのご提供（企業ロゴ等が入っていてもOK） ・ イベント運営に関するノウハウの提供やアドバイス

スポンサー制度詳細

スポンサー種別によってMoodle Mootにおけるご参加の範囲が変わってきます。

項目	シルバースポンサー	ゴールドスポンサー	プラチナスポンサー
概要	Moodle Mootのスポンサー		
協賛金額	¥100,000	¥200,000	¥400,000
Moot参加可能人数	2	5 + ゲスト5 = 10	5 + ゲスト10 = 15
総会での可能投票数	0	0	0
Moot招待客用招待状(*1)	X	5枚	10枚
学術発表	X	X	X
学術発表枠数	X	X	X
査読(学術およびケーススタディー)	N/A	N/A	N/A
商用プレゼン・ワークショップ枠数(*2)	1	2	4
Lightning Talk(*3)	○	○	○
ポスター掲示(*4)	X	○ A1 1枚	○ A0, B0, スタンドバナー, 合計4枚
MAJ HPトップページへの掲載	通年社名のみ	通年ロゴ入り(小)	通年ロゴ入り(大)
Moodle Mootスケジュールページへの広告の掲載(リンク付き)	X	○ ロゴ小、紹介文短	○ ロゴ大、紹介文長
受付時にチラシ配布	X	○ 100枚以内	○ 無制限
展示スペース	テーブルと椅子	展示スペース 2m * 2m(予定)	展示スペース 4m * 2m(予定)
ランチプレゼン(*5)	X	○	○
懇親会(*6)	別途費用	3名まで無料	5名まで無料
申し込み方法	スポンサーサイト	スポンサーサイト	スポンサーサイト

スポンサー制度詳細

- (*1)招待状はゲスト用として最大10枚を発行します。お客様へご招待用としてお使いください。
- (*2)商用プレゼンでは自社のプロダクトやサービスのプレゼンテーションが可能です。プロジェクターを準備いたします。
- (続き)商用プレゼンで希望する場合、受講者一人一台のPCを準備（又はBYOD方式）します。インターネットへの接続とブラウジングは可能ですが、他のアプリをインストールすることはできません。

内容としては、1. 自社商品を実機を使ってデモをする。2. Moodle自体を教えて自社の宣伝とする事が可能です。

2の場合には他のワークショップと内容が重複し、集客に影響を及ぼす恐れがありますので、事前に内容を相談させていただきます。
- (*3)ライトニングトークとは、5分から10分程度の時間で多くのプレゼンを連続的に行う方式です。
- (*4)ポスターは会場の目につく場所に掲示いたします。A1を2枚まで可能です。
- (*5)ランチプレゼンは、参加者に特定の部屋でランチを無料で提供し、プレゼンを聞く機会を設けるものです。参加者のランチ費用はスポンサー費用に含まれています。
- (*6)懇親会は本大会1日目の夜開催されます。参加者、講演者との交流のチャンスです。

スポンサー特典

(主にゴールドスポンサー, プラチナスポンサーを対象に述べています.)

商業展示スペース

- スポンサー種別に応じて展示スペースをご用意します。

展示は2月27日、2月28日の2日間となります。2月26日はワークショップのため展示はできません。

社名パネルは各社でご用意ください。
展示スペース内のデコレーションはご自由です。



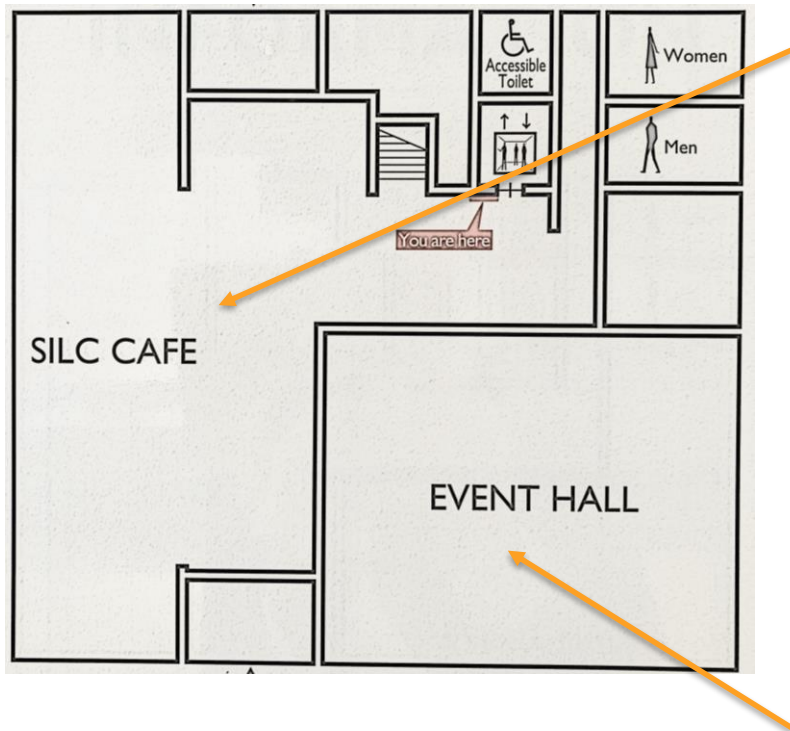
スポンサー種別と展示スペース

スポンサー種別によって、テーブル数などが異なります。
また、展示スペースの配置はスポンサー種別に応じて優遇いたします。

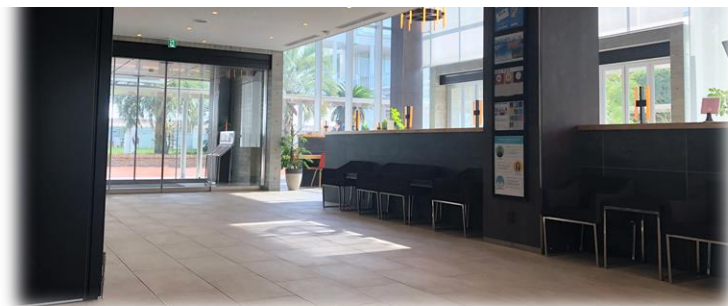
	プラチナ	ゴールド	シルバー
テーブル数 1200mm(W)×450mm(D)	2個	2個	1個
椅子	4個	2個	2個
ポスター用ボード	A1縦サイズのポスター2枚	A1縦サイズのポスター1枚	
電源	AC100V (0.5kW 50Hz) コンセント 2口	AC100V (0.5kW 50Hz) コンセント 2口	AC100V (0.5kW 50Hz) コンセント 2口
インターネット用 ポート	あり	あり	あり

商業展示スペース・レイアウト(案)

- 会場は崇城大学をお借りします。
- スポンサー商業展示スペースは**大教室**を予定しています。



プラチナ スポンサー SILC CAFE



ゴールド, シルバー Event Hall

- ❖ 展示スペース数および通路幅確保などの事由により、場所やレイアウトが変更される場合があります。
- ❖ 展示スペースの場所は指定できません。原則お申込み順に受付に近い場所から割り当てます。
- ❖ 写真は昨年度実施校のものとなっています。

商業プレゼンテーション

- 申込み時にご希望があれば、プレゼンテーション枠をご提供します。（10分，40分または90分）
 - 自社のサービスのアピールにご活用ください。
 - お弁当の無料配布を呼び水にしたランチプレゼンもあります。
 - PC教室を使ったワークショップも可能です。



お客様ご招待チケットの進呈

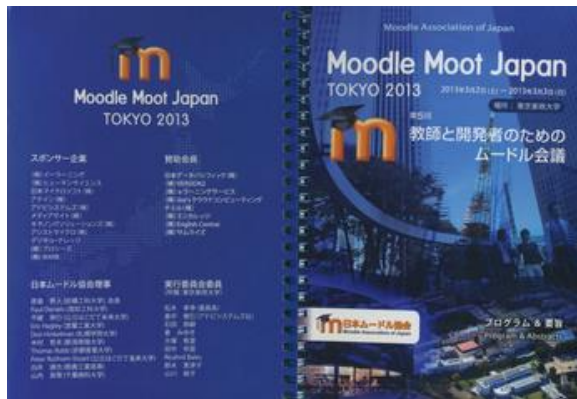
- 貴社のお客様を無料招待いただけるチケットを進呈します。
 - 最大10名までご招待できます。（10万円相当）
- ※懇親会も5名までは無料にてご招待いたします。（御社含む）



※ 受付確認のため、来場者は事前登録が必要です。

配布物、オンラインメディアへの掲載

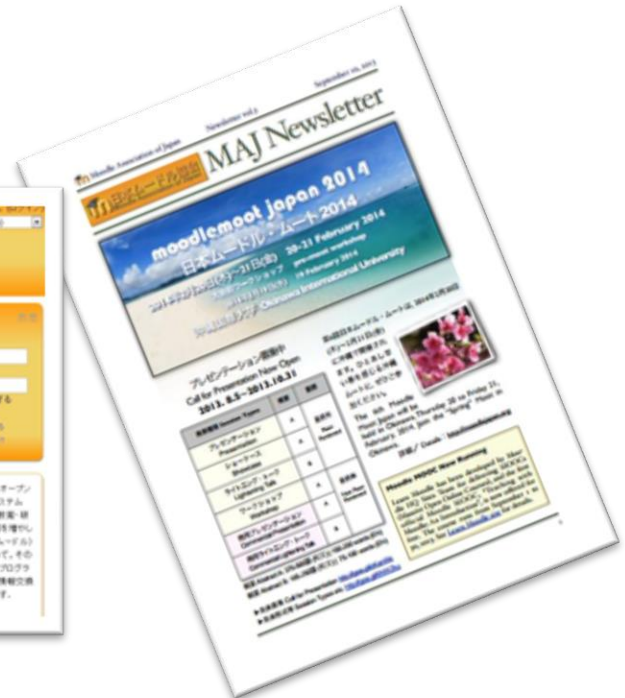
- 主催者所有のさまざまなメディア媒体に、会社ロゴ、社名、口コミを掲載します。



プログラム
パンフレット



公式Webページ



ニュースレター

※すべてのメディア媒体に掲載できることをお約束するものではありません。
お申込みの時期や、メディアの更新のタイミング、レイアウト上の問題等により、
掲載できない媒体もございます。



開催概要

開催概要

- 名称：Moodle Moot Japan 2020
- 主催：日本ムードル協会 Moodle Association of Japan
- 会期：2020年2月26日(水)～2月28日(金) 3日間
- 開催地： 崇城大学
 - 熊本県 熊本市 池田4-22-1
 - <https://www.sojo-u.ac.jp/>
- 見込み来場者数：のべ500名以上
 - 2月26日（水）ワークショップ（100名）
 - 2月27日（木）大会第一日（240名）
 - 2月28日（金）大会第二日（240名） ※昨年度実績

Moodle Moot の内容

- 世界シェアNo.1のオープンソースコース管理システム「Moodle」をめぐる研究、開発、実践についての発表や著名人の基調講演、活用事例発表セミナー、ワークショップなど数多くのセッションが用意されます。
- 有料（参加費1万円）にもかかわらず、毎年数百人もの熱心なMoodleユーザーが集結します。
- 学校や企業の教育者、SE/プログラマー、IT管理者など、様々な業種/職種の方が、Moodleの今と未来について熱く語り合う密度の濃いイベントです。





サンダ・バングマン

生産管理者 (Moodle H) (オーストラリア)

H5P とムードルの将来

2017年以来、サンダ・バングマンはMoodle HQでオープンソースのコーディネータを務めています。最近では、H5Pと呼ばれる技術をMoodleのコアに組み込むチームを監督しています。このH5Pというのは、革命的なコンテンツ作成プラットフォームとして近年、急速に普及してきました。彼の講演は、このH5Pの紹介とMoodleユーザに対する意味・影響を話して頂きます。



森本 康彦 東京学芸大学教授

電子ポートフォリオとムードル

東京学芸大学の教員として、森本教授は教育分野でアクティブ・ラーニング、学生の振り返り、ICT技術との接点を研究しています。彼は、大学での電子ポートフォリオの教育への応用について講演したり、研究論文を発表してきました。今回の講演では、振り返り教育と評価についての学びを記録するにあたって、Moodleが果たす役割について話す予定です。



MoodleMoot

過去の実績

これまでの MoodleMoot

回	年	主催校	エリア	参加登録者数
第1回	2009	公立はこだて未来大学	北海道	50
第2回	2010	公立はこだて未来大学	北海道	120
第3回	2011	高知工科大学	高知	180
第4回	2012	三重大学	三重	200
第5回	2013	東京家政大学	東京	300
第6回	2014	沖縄国際大学	沖縄	244
第7回	2015	京都産業大学	京都	240
第8回	2016	沖縄国際大学	沖縄	244
第9回	2017	自治医科大学	栃木	240
第10回	2018	武蔵大学	東京	170
第11回	2019	静岡理工科大学	静岡	169



FAQ

◆展示スペースやセミナー会場設備に関する情報はいつ頃もらえますか？

◆スポンサーにお申込みいただいた後、詳細が決まり次第ご連絡致します。

◆スポンサーとしてイベントのお手伝いをしたいのですが

◆是非お願いします。まずは mootsponsor@moodlejapan.org までご連絡ください。

お申込み方法

- 別紙のスポンサー規約をご確認の上、オンラインフォームにてお申込みください。

第11回 日本ムードルムート申込みフォーム

<https://forms.gle/pXkDvd5MnbruFVYg8>

お申込み期限：2019年12月31日(火)



- 原則お申込み順に、受付に近い場所から展示スペースを割り当てます。お早めのお申込みをお勧めいたします。
- お申込み後、数日中に請求書を送付いたします。原則お申込み日の翌月末までに協賛金をお振込みください。
- お申込み期限後のキャンセル、返金はいたしかねます。

お問い合わせ

- 日本ムードル協会 スポンサー事務局

mootsponsor@moodlejapan.org

- 日本ムードル協会 公式ホームページ

http://moodlejapan.org



こちらにもお気軽にアクセスください。

日本ムードル協会Facebookページ

https://www.facebook.com/moodlejapan